

ワークショップ概要

〈継承日本語教育〉が、国語教育とも外国語としての日本語教育とも違うということは、20年ぐらい前と比べると理解度が上がっているように見受けられます。けれども、継承語教育で授業という形で教室の中で何をどう教えるのかというカリキュラムのデザインになると国語教育や外国語としての日本語教育のアプローチが使われることが多々あります。当ワークショップでは、参加者の方々が、この3つのアプローチがどのような学習者を対象にしたものかを理解し、〈継承日本語教育〉の実践例を検討しながら、〈継承日本語教育〉のアプローチを考えることができる機会となることを目指します。